

SAF JAPAN NEWSLETTER



THE STUDY ABROAD FOUNDATION
AN INTERNATIONAL UNIVERSITY NETWORK

2012 New Year Edition

新春インタビュー：SAFプレジデント Prof. John Belcher

SAFアカデミック・インターンシップ・プログラムの導入と今後の発展

Q1: SAFの新しいアカデミック・インターンシップ・プログラムについてどの様に考えていますか？

John Belcher (以下JB): 全世界的に見て、留学している学生の約25%がアカデミック・インターンシップ・プログラムに参加していると言われています。しかし、アジアではインターンシップ・プログラムに参加する学生の割合が25%よりもずっと低いのが現状です。アジアにおいてアカデミック・インターンシップという概念があまり浸透していないこととプログラムを提供している大学があまりないということが理由として挙げられます。SAFはメンバー大学と学生に、学内に留まらない幅広い留学プログラムを紹介し、より多くの留学の機会を提供したいと思っています。アジア諸国の大学との話し合いから、アカデミック・インターンシップ・プログラムはまさに今求められているプログラムではないかと感じました。

Q2: これから導入されるプログラムについて教えてください。

JB: 1学期から1年間のアカデミック・インターンシップに加え、今後、国際キャリア開発を目的とした春季4週間の短期プログラムを導入します。就労体験は含まず、3つのアカデミック科目と語学強化プログラムを組み合わせる履修するプログラムで将来、国際的な企業や機関で働きたいと考えている学生向けのプログラムです。休暇を利用して留学を考えている学生には最適なプログラムです。



Q3: 誰のためにこのプログラムを役立てようと考えていますか？

JB: まず一番は学生ですね。特に、海外や国際的な企業や機関で仕事をするためのスキルや経験を身に付けたい日本の学生です。もちろん、国内で就職予定の日本人学生にもプログラムの経験を役立ててほしいです。最近では日本国内であっても海外経験や国際的な視野を持った人材を必要としている企業も増えていますから。

Q4: 日本の学生は海外の機関や会社でどのように活躍できると思いますか？

JB: 日本人は機敏で、仕事熱心かつ向上心が強いという国際的なイメージは強みになるでしょう。しかし、日本と欧米の企業や機関には大きな文化的違いがあるので、高い順応性が求められると思います。また、語学力も日本人学生にとっては大きな挑戦となるでしょう。

Q5: 無償で働くことに関して違和感をもつ学生はいると思いますか？

JB: いると思います。ヨーロッパや北米ではアカデミック・インターンシップに参加する際

に学費を支払い無償でインターンとして働くことは広く理解されていますが、アジアではこのような概念はまだ浸透していないように思われます。しかし、私はいずれアジアでもこのような体制は確立されていくのではないかと考えています。アジア全体を考えると現時点ではSAFは先取りをしているのかもしれない。その意味では違和感を覚える日本の大学や学生もいると思います。

Q6: 今後、日本の大学でもこのようなインターンシッププログラムが受け入れられていくと思いますか？

JB: 大学よりも先にまず学生たちがこのようなプログラムの有益性 (benefit) に気付くのではないのでしょうか。今後、実際に日本人学生がプログラムに参加し成果をあげることで、このような経験の必要性が見えてくると思います。

Q7: 今後のSAFの展望について教えてください。

JB: 大きく分けて2点あります。まず、ニーズを理解し、幅広い留学の機会を提供していくということです。今回のインターンシップ・プログラムはそのひとつの例として捉えることができます。もう一つは、地理的なSAFの発展です。今年、中国では北京、上海に加えて広州に新たに事務局を開設しました。今後はベトナムの大学をはじめ、さらに多くのアジアの国々の大学ともSAFのネットワークを構築していきたいと思っています。

SAFネットワーク校一覧

アメリカ	コロラド州立大学	ミシガン州立大学	エジンバラ大学	ニュージーランド	アカデミック・インターンシップ/プロフェッショナル・ワーク・プレースメント
アーカンソー大学	コロラド大学 ボルダーク	ミドルベリー大学	グラスゴー大学	オタゴ大学	アカデミック・インターンシップ・
アイオワ大学	コロロビア大学	ミネソタ大学	ブリストル大学	カンタベリー大学	カウンシル(AIC)
アメリカン大学	モンタナ州立大学	モンタナ州立大学	ロンドン芸術大学	ビクトリア大学 ウェリントン	アメリカン大学
アラバマ大学	サンノゼ州立大学	モンタナ大学	ロンドン大学	ビクトリア大学 ウェリントン	ワシントン・セメスター・プログラム(WSP)
アリゾナ州立大学	サンフランシスコ州立大学	ユタ大学	クイーン・メアリー校	フランス	エジンバラ大学
アリゾナ大学	スミス大学	ワシントン大学国際関係学部	ユニバーシティ・カレッジ・	アンジェ・カトリック大学*	パラメント・インターンシップ・プログラム
インディアナ大学	セント・トーマス大学	ISAYAインスティテュート	ロンドン	スイス	ライブツィヒ大学
カリフォルニア大学	テキサスA&M大学	カナダ	アイルランド	ローザンヌ大学	スペイン
サンタバーバラ校	ニューヨーク州立大学	カルガリー大学*	アイルランド国立大学	ドイツ	レイオン大学*
カリフォルニア大学	バツファロー校	トロント大学 *	ダブリン校*	ライブツィヒ大学	インターナショナル・エデュケーション(FIE)
サンディエゴ校	パデュー大学	ビクトリア大学	リムリック大学	オーストラリア	ワシントン大学
カリフォルニア大学	バーモント大学	マニトバ大学 *	オーストラリア	ウーロンゴン大学	ビジネス・インターンシップ・プログラム
ロサンゼルス校	ハワイ大学 ヒロ校	イギリス	ウーロンゴン大学	クイーンズランド大学	
カリフォルニア大学	バンダービルト大学	ウェストミンスター大学	クイーンズランド大学	ニューサウスウェールズ大学	
ロサンゼルス校	ペンシルバニア大学	オックスフォード大学	マッコーリー大学		
サマーセッション	マウント・ホリオーク大学	セント・アンズ・カレッジ			

* 語学強化プログラムのみの提供となります。

グローバル人材の育成と大学の役割について

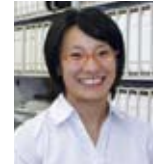


渡辺 義和先生
南山大学
国際教育センター長
総合政策学部教授

国際プロジェクトを運営する企業の経営に携わってきた関係で、「グローバルに活躍できる人材」獲得のための入社面接を数多く行ってきました。これまでの採用がすべて成功だったわけではありません。そのおかげもあってか、応募者の何に注意して見たら良いのか、どんな質問をすれば短時間で応募者のポテンシャルが見抜けるのか等、面接技術は徐々に向上していきました。「国際的なプロジェクトに携わる業務」と求人広告に書いてあると、とっさに応募者が思いつくのが「語学力」です。しかし、これがくせ者です。実は、必要な語学力というのは職位や業務内容によって千差万別で、通じればオッケーというレベルの仕事から、通訳者レベルの力が求められる仕事までさまざまあります。しか

し、通訳者レベルの語学力があるからと言って、語学に長けているだけでは、申し訳ないですが国際プロジェクトでは使い物になりません。実際には、語学力よりもっと大切なもの（あえてそう言いますか）がたくさんあるのですが、英語学校や大学の広報のせいもあってか、大学生たちはせつせと「語学力」の向上にばかり目を向けているようです。論理的に考える力、説得力のある説明能力、相手の視点から世界を見る力、自分の常識に囚われない柔軟な思考力…。これらの力と語学力が一緒になって、はじめて国際的に活躍できる人材の基礎が築かれるのだと思います。グローバルに活躍できる人材を育成する大学としては、これらの力を総合的に育成すべく、語学クラスや異文化理解のクラスの枠を超えて、すべての科目や大学の催し物を有機的に関連付けていくことが望ましいのではないのでしょうか。そんな教育の一環として、SAFアカデミック・インターンシップ・セミナーで紹介されたプログラムは、これらの「国際力」を実践の場で磨く機会として効果的なのではないかと感じました。

スタッフ紹介： SAF留学の経験を活かして



吉田 麗子
学生サポート部門
プログラムコーディネーター

はじめまして、2011年8月よりSAF日本事務局学生サポート部門で働いている吉田です。2011年5月まで3年間、アメリカの大学に在学していましたが、私の初めての留学はSAFのプログラムを通してのものでした。2007年に桜美林大学リベラルアーツ学群に入學し同学群の学生を対象としたGOプログラムでゴンザガ大学に1学期間の語学留学をしました。SAFによる出発前から帰国後までのきめ細かなサポートにより充実した初留学を経験した私は海外への興味を更に高め、翌年幼少期より続けていたサッカーでケンタッキー州の大学より奨学金のオファーを受け編入、3年間のサッカー留学をしました。今後は、自身のSAFプログラムの経験者としての経験やサッカー留学の経験からより多くの学生さんに英語習得や単位取得のためだけの留学ではなく、自分の特技・趣味を現地で活かして充実した留学をアドバイスしたいと思います。

SAF日本事務局：出発前留学サポートと手続きについて

SAF日本事務局では、各メンバー大学の前期・後期の日程に合わせてキャンパス内での留学説明会を実施しています。大学主催の留学フェアや交換留学説明会と合同で実施する場合もあれば、単独で昼休みを利用して実施する場合もあります。学生の留学アドバイスには、説明会にて情報を提供する他、個人の留学希望や留学後のプランについて話し合う

ための個別相談が必要です。SAFでは、SAF日本事務局での個別相談の他、45分間のキャンパス内個別相談もしくは大学設置のパソコンを利用したスカイプ個別相談を実施し、学生の留学アドバイスをを行っています。また、出発前から出発までは春・秋出発のサイクルに合わせて以下のような流れで学生サポートを実施しています。

SAF日本事務局の活動内容

〔設立〕2000年

〔活動使命〕SAFは大学生の国際交流促進という使命の基、国際的な大学ネットワークを組織し、1学期から1年間の質の高い留学機会を学生に提供することを目的としています。

〔プログラムタイプ〕

●ジェネラル・プログラム

交換 / 協定留学以外の認定 / 私費留学オプションとして、国際センターとの協力提携の基、SAF留学プログラムを学生に提供します。

●カスタム・プログラム

●セミカスタム・プログラム

特定の学部・学科における留学プログラムを大学と共同企画・運営します。カリキュラムに組み込まれた留学プログラムを担当するため、大学のニーズやプログラムの規模に応じて専任のSAFプログラムコーディネーターが大学内に常駐します。

〔メンバー大学〕

桜美林大学、沖縄国際大学、関西学院大学国際学部、慶應義塾大学、駒澤大学、信州大学、昭和女子大学、中央大学、東京理科大学、東洋大学、南山大学、立教大学（2012年1月現在）

〔加盟に必要な手続き〕

	手続き	費用
フルメンバー	MoU	入会金・年会費などメンバー費不要
カスタム・プログラム	契約	各大学・特定学部との契約に基づく

General Program メンバー大学国際センターにて私費/認定留学としてプログラムを提供する場合				
出発 6～5か月前	出発 6～4か月前	出発 3～2.5か月前	出発 2.5～2か月前	出発 約2週間前
出願セミナー 数十回	出願	出発前オリエン ①	出発前オリエン ②	出発前オリエン ③
<ul style="list-style-type: none"> 願書の書き方 出願大学の選び方 その他必要書類の揃え方 書類の提出方法 	<ul style="list-style-type: none"> 郵送提出もしくはキャンパス内受付 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ紹介 出発準備・留学実践ハンドブック配布 今後の支払いについて 留学中の通信手段 お金の持って行き方 留学保険 異文化適応について① 予防接種について① 航空券手配とビザ① 	<ul style="list-style-type: none"> 合格通知配布 渡航準備 危機管理 SAFポータルサイト 異文化適応について② 予防接種について② 航空券手配とビザ② 	<ul style="list-style-type: none"> 留学先大学別オリエン 到着/チェックイン 大学オリエン日程 ミールプラン/食事 費用と大学からの請求 留学中、こんな時どうする? 異文化適応について③

SAF Annualスタッフミーティング: アジア4か国の高等教育の国際化に向けて

毎年SAFでは、1月と5月のNAFSAの前にアジア4か国とアメリカ本部のスタッフが集うSAFスタッフミーティングを開催しています。1月の全体ミーティングは毎年、持ち回りでアジアの事務局のある都市で開催され、昨年の台湾に続き今年は韓国ソウルでの開催となりました。全スタッフは参加できないものの、今年は各国から合計18名のスタッフが集まり、SAF全体の方針や各アジア事務局で異なる大学との協体制度などに関する報告などが行われました。特に、学生へのアカデミック・アドバイスに関して、SAFアドバイザーがどのように学生のモチベーションを高め、学生の



留学を設計することができるのかについて活発な意見交換がとり行われました。教育的な立場を保ちつつ、学生の真のニーズを引き出しながら学生を導いていくアドバイジング力と留学先大学に関する正しい知識をより高めていくことが、高等教育の国際教育に携わる専門スタッフとして求められていると実感したSAF全体会議となりました。

また、2月にはアジア4か国からSAF学生サポート部門のマネージャーがアメリカ本部に集まり、アカデミック・アドバイジングの方法やSAFホスト大学との協体制度、大学院進学を希望する学生へのアドバイス方法、出発前オリエンテーションの内容と質の見直し、ホスト大学別の出願時の注意事項などの詳細について、ミーティングが持たれる予定となっています。同時に、アメリカン大学やペンシルバニア大学、コロンビア大学、ユタ大学、インディアナ大学、バテュー大学へのホスト大学へ訪問をし、ホスト大学の担当者とのミーティングも持つ予定となっています。

1月全体ミーティング日程

日程	内容
1月13日	韓国 International Advisory Council (IAC Meeting) 於 Sogang University
1月14日 1月15日	SAF スタッフミーティング ミーティングテーマ: Understanding the Present to Develop the Future <ul style="list-style-type: none"> ■ 2011年 SAF 全体活動内容と今後のプラン ■ SAF アメリカ本部ならびに各アジア事務局による活動報告 ■ システム (Web/ データベースなど) の発展・開発 ■ メンバー大学との関係構築について ■ 学生アドバンシングと学生管理 ■ 意見交換
1月16日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 韓国メンバー大学 POSTECH 訪問 ■ 韓国メンバー大学 Kyoungbuk National University

SAF中国: 2011年 広州オフィス始動

SAF中国事務局では、広東省・湖南省・湖北省の3つのエリアにある6つのメンバー大学と協力するため、北京・上海に次ぎ3つ目のオフィスを広州に設置しました。中国では、メンバー大学が急速に全土に拡大し、36校となったため、各地域に分かれて大学と密接な活動を展開しています。中国事務局では、学期ごとに2~3回のキャンパス内セミナーを実施し、メンバー大学の学生にプログラムを紹介しています。中国の学生は自分の専攻分野と関連もしくは同じ科目を留学先で履修するケースが多く、また、帰国し卒業後に大学院留学を希望している学生が大半です。そのため、出願

先の大学選びや履修内容についてなど、キャンパス内のみならず事務局での丁寧な個別相談が必要となってきます。



SAF アジアメンバー大学一覧

日本 (12校)

桜美林大学
沖繩国際大学 国際学部
関西学院大学 国際学部
慶應義塾大学
駒澤大学
信州大学
昭和女子大学
中央大学
東京理科大学
東洋大学
南山大学
立教大学

韓国 (25校)

Catholic University of Korea
Chonnam National University
Chung-Ang University
Dongguk University
Hankuk University of Foreign Studies
Hanyang University
Hongik University
Inha University
Kangwon National University
Konkuk University
Kookmin University
Korea University
Kyung Hee University
Kyungpook National University
Myongji University
Pohang University of Science and Technology (POSTECH)
Pusan National University
Seoul National University
Sogang University
Sookmyung Women's University
Soongsil University
Sungkyunkwan University
University of Incheon
University of Seoul
Yonsei University

中国 (36校)

Beijing Jiaotong University
Beijing Normal University
Beijing University of Chemical Technology
Beijing University of Posts & Telecommunications
Central China Normal University
Central University of Finance & Economics
China Pharmaceutical University
China University of Mining & Technology Beijing
China University of Petroleum
China University of Political Science & Law
Communication University of China
Dalian University of Technology
East China Normal University
East China University of Political Science & Law
East China University of Science & Technology
Fujian Normal University
Guangdong University of Foreign Studies
Huazhong University of Science & Technology
Hunan University
Jinan University
Nankai University
North China Electric Power University
Northeast Normal University
Office of Pilot Software Engineering Schools(MOE)
Shaanxi Normal University
Shanghai Finance University
Shanghai Institute of Foreign Trade
Shanghai Jiaotong University
Shanghai Normal University
South China University of Technology
Southeast University
Tianjin University
Tongji University
University of International Business & Economics
University of Science & Technology Beijing
Xiamen University

台湾 (8校)

Feng Chia University
National Chiao Tung University
National Chung Cheng University
National Taiwan Normal University
National Taiwan University
National Tsing Hua University
Tamkang University
Tunghai University

(2012年1月現在)

SAF春季短期プログラム： FIEロンドン・インターナショナル・キャリア・ディベロップメント

SAFでは、グローバル人材の育成に貢献すべく、2011年度よりアカデミック・インターンシッププログラムを導入しました。それと同時にSAFで初めての短期プログラムとなる春季4週間の「FIEロンドン・インターナショナル・キャリア・ディベロップメント」を導入しまし

た。主に就職活動を始める前の学部生を対象に、国際キャリア開発のための学びの機会とすることを目的としています。本プログラムでは、3つの語学レベルごとに、アカデミック科目と語学力強化プログラムが提供されます。

予定開催期間：2012年2月16日(木)～2012年3月18日(日) ※2012年度参考

参加条件	語学力	Intermediate	TOEFL iBT 53 以上 / IELTS 4.5 以上 / TOEIC 520 以上 (英語 2 科目 + アカデミック 1 科目)
		Upper Intermediate	TOEFL iBT 70 以上 / IELTS 5.5 以上 / TOEIC 620 以上 (英語 1 科目 + アカデミック 2 科目)
		Advanced	TOEFL iBT 79 以上 / IELTS 6.0 以上 / TOEIC 720 以上 (アカデミック 3 科目)
プログラム内容	アカデミック科目 (語学レベルにより受講する科目が決定される)	コース 1	British Life and Business ※Advanced の学生が履修
		コース 2	Intercultural Communication ※Upper Intermediate と Advanced の学生が履修
		コース 3	Careers Workshop ※全てのレベルの学生が履修
基本情報	英語力強化科目 (語学レベルにより受講する科目が決定される)	<ul style="list-style-type: none"> English for Effective Communication Business English 	
		留学中の学生身分	デュレクセル大学 (Philadelphia, Pennsylvania) の学生として学籍登録
		成績証明書の有無	デュレクセル大学より成績証明書

※本プログラムを大学の主催の短期プログラムの一つとして導入したい等のご希望がある場合は、SAF日本事務局までお問い合わせください。

SAFプログラム参加学生からのメッセージ

沖縄国際大学 総合文化学部/
英米言語文化学科 / 4年
山口 功記さん

University of Utah
英語力強化+授業履修プログラム
2010年8月～2011年5月



「目の前に広がるフィールドの 広さを知るきっかけとなった留学」

沖縄国際大学の2年生だった私は、運良くTOEFLのスコアを取り、英語力強化コース+授業履修プログラムに出願することができました。初めての海外留学で、わからないことや不安なことだらけでした。留学をすると価値観が変わると言われますが、私の価値観は良い意味で一変しました。まず、同じアジア圏から留学している学生の「学ぶ」という意識の高さに驚かされました。学部に移ってからは、アジア圏に限らず同じ日本からの留学生も沖縄の学生より明らかに高い学習意欲を感じ、自分と同じような年頃の学生が高い意識で学問を追究しているということに多いに刺激を受けました。また、大学の教育システム自体も日本とは大きく異なり、よりシビアで能率的であるばかりでなく、開講科目に関してもそのバラエティの多さに驚くばかりでし

た。私は音楽好きのため、沖縄国際大学では履修できないような音楽のクラスを選択しましたが、このように、全く関連のない分野の講義を履修することはとても新鮮で、留学の大きなメリットの一つだと思います。

アメリカという文化的に全く日本と異なる国に行ったことで、教育的な側面からだけでなく、文化的にもたくさんの刺激を得ることができました。オープンで多国籍な国の文化を体験することで異文化に対する理解が深まり、また英語を学ぶことで目の前に広がるフィールドの大きさを実感しました。国内に留まりがちな日本人にとって、英語学習の普及は日本の将来的な発展に繋がるということを肌で感じました。就職難に喘ぐ学生が多い中、英語を習得して海外にフィールドを広げることも一つの道だと思います。このように考えることができるようになったのも、SAF留学を経験できたからです。今後は、ただ単に就職活動するのではなく、さらに英語力を磨きもつと長期的なスパンで人生においてやりがいのある仕事を見つけたいです。



SAF日本事務局
ディレクター
ブレット・ラミンジャー



副ディレクター
大学担当
留学プログラム開発
松田 晴子



マネージャー
福田 久美子



学生サポート部門
主任アドバイザー
菊池 拓介



学生サポート部門
アドバイザー
門田 拓也



学生サポート部門
プログラムコーディネーター
児玉 有子



学生サポート部門
プログラムコーディネーター
吉田 麗子



カスタム・プログラム部門
プログラムコーディネーター
立教大学
異文化コミュニケーション学部
海外研修
土開 稚子



カスタム・プログラム部門
プログラムコーディネーター
ウエングル 和加子



カスタム・プログラム部門
プログラムコーディネーター
古山 佑香



THE STUDY ABROAD FOUNDATION
AN INTERNATIONAL UNIVERSITY NETWORK

SAFスタディ・アブロード・ファウンデーション
日本事務局

〒163-1364 東京都新宿区西新宿 6-5-1
新宿アイランドタワー 4F #1578

Tel: 03-5321-6222 Email: info@SAFJapan.org

www.studyabroadfoundation.org/japan